

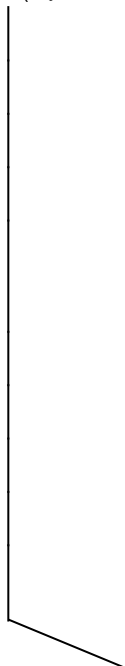


## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### (1) 連結経営指標等



(2) 提出会社の経営指標等



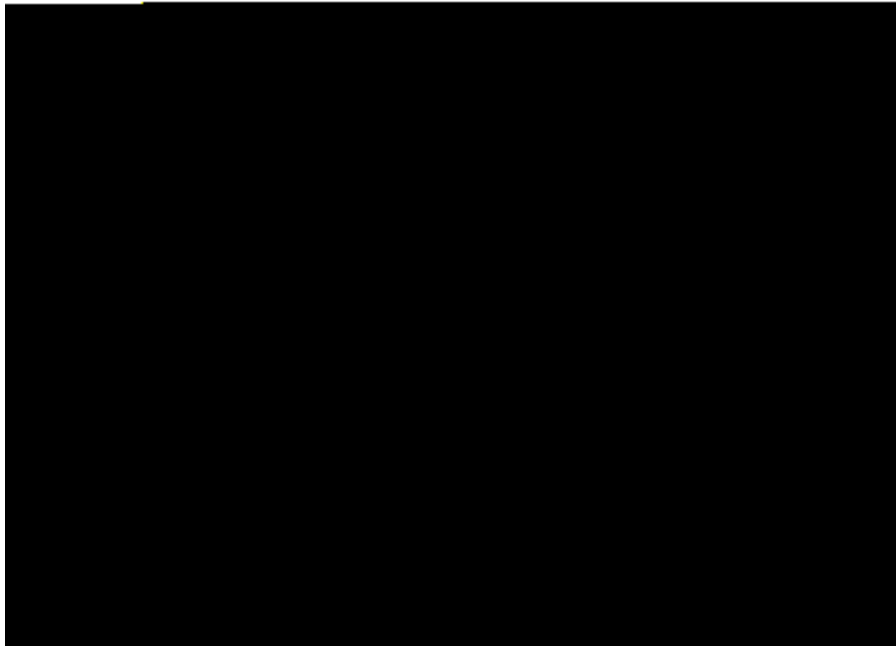
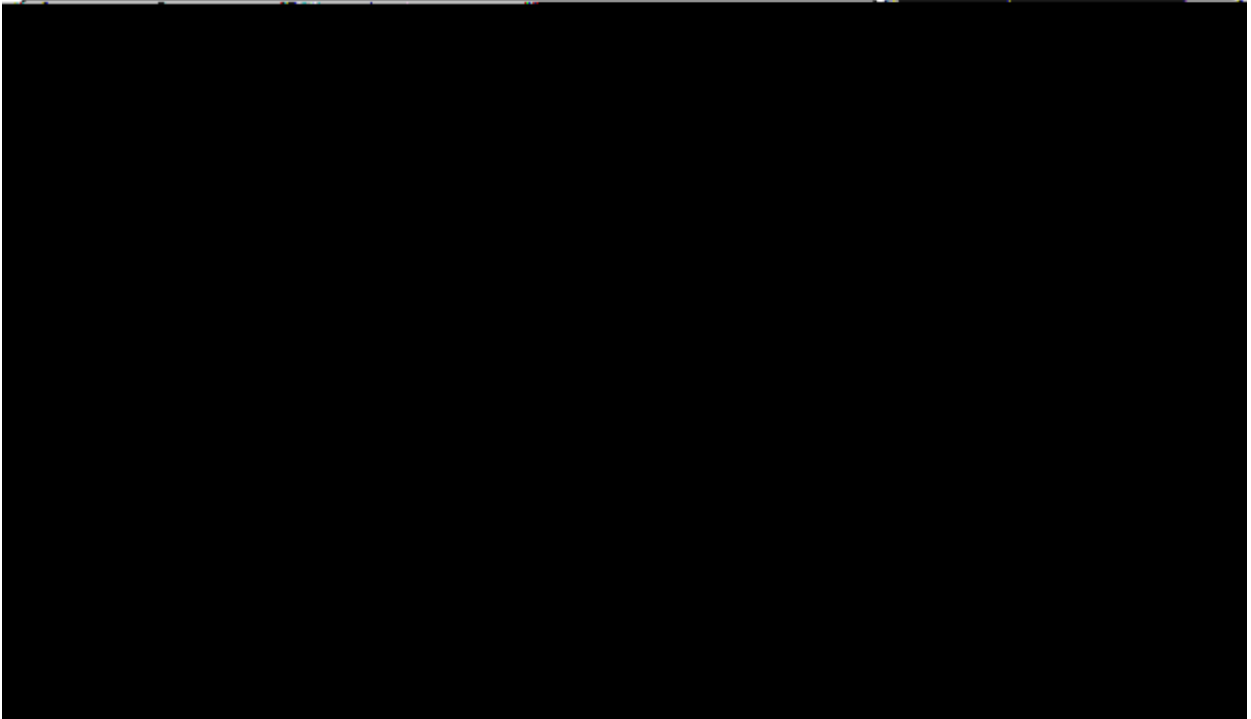
## 2【沿革】

### 3【事業の内容】

E05317)

## [ 事業系統図 ]

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。



#### 4【関係会社の状況】

--	--	--

## 5【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

(2020年3月31日現在)

業種	従業員数(名)
IT R.O. 業	140 (32)
診断解析事業	





このような環境のもと、当社グループは、顧客や従業員等の健康・安全確保や事業への影響を最小限に抑える必

## 2【事業等のリスク】

法的規制について

a . 実験動物関連

CRO事業の実験動物関連サービスに関して、動物愛護の観点などから、欧米特に欧州では実験動物使用禁

### 3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績等の状況の概要

##### 財政状態及び経営成績の状況





生産、受注及び販売の実績

a . 生産実績

E05317)



(営業利益)

セグメント別では、株式会社TGM等のグループ加入により事業が拡大し、TGBS事業の営業利益が前期





**第4【提出会社の状況】****1【株式等の状況】****(1)【株式の総数等】****【株式の総数】**


(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

--	--



## 2【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 普通株式

### (1)【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。


















監査報酬の内容等

a . 監査公認会計士等に対する報酬の内容

|



(4) 【役員の報酬等】

( 5 ) 【株式の保有状況】

投資株式の区分の基準及び考え方

当社は、純投資目的での投資株式の保有は原則として行わず、安定的な取引関係の構築や成長戦略に則った業務提携関係の維持・強化に繋がり、当社の中長期的な企業価値の向上に資すると判断した場合に株式投資を行い、当該株式を純投資目的以外の目的である投資株式として分類しております。

保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式

a . 保有方針及び保有の合理性を検証する方法並びに個別銘柄の保有の適否に関する取締役会等における検証の内容

経理財務部門においては、保有先企業との取引状況並びに保有先企業の財政状態、経営成績及び株価等の状況を四半期毎に確認し、保有の継続の可否について定期的に見直しを行っております。その結果、継続保有の(E05317)











【連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	202,219	440,706
その他の包括利益		貲苺 獐婕穰 怀



【連結株主資本等変動計算書】



【連結キャッシュ・フロー計算書】

The table content is redacted with seven horizontal light blue bars, obscuring the data for the consolidated cash flow statement.

**【注記事項】**

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数                    12社  
E05317)





E05317)

(追加情報)

当社グループにおきましては、現状、新型コロナウイルス感染症の拡大により、CRO事業において一部の試験が計画通り進まず売上計上が遅延する可能性があり、また一部の試験に関する受注活動が低下する懸念も生じております。会計上の見積りは、このような状況が今後数ヵ月程度は継続し、従来通りの回復には半年から一年程度の時間をE05317)







(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数(株)	当連結会計年度増加 株式数(株)	当連結会計年度減少 株式数(株)	当連結会計年度末株 式数(株)
発行済株式				
普通株式(注)				

2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

EDINET提出  
 株式会社トランスジェニック(EO)  
 有価証券報告書

							株式会社トランスジェニック(EO)

3 現金及び現金同等物を対価とする事業の譲渡にかかる資産及び負債の主な内訳

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

連結子会社株式会社安評センターにおける、CRO事業の事業譲受けに伴う資産及び負債の内訳並びに事業譲受価額と事業譲受による支出は次のとおりであります。

流動資産	353,404千円
固定資産	451,168
のれん	25,460
流動負債	371,200
固定負債	3,833
譲受価額	<hr/> 455,000
現金及び現金同等物	<hr/> 25,916
差引：譲受けのための支出	<hr/> <hr/> 429,083

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

E05317)





2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品



4. 社債、長期借入金、リース債務及びその他の有利子負債の連結決算日後の返済予定額  
前連結会計年度(2019年3月31日)

--	--	--	--	--	--	--	--	--



当連結会計年度（2020年3月31日）

--	--









( 税効果会計関係 )





(企業結合等関係)

取得による企業結合

(連結子会社の株式取得による株式会社TGMの買収)

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社TGM

事業の内容 エコガラス(複層ガラス)用副資材(スペーサー&シーリング材)の輸入販売、板ガラス加工設備の販売とメンテナンス

企業結合を行った主な理由

当社グループは創薬支援企業として創薬の研究開発の各ステージに有用なツール及びサービスを提供しており、これら既存事業の積極的な収益拡大に向けた施策を進めるとともに、バイオ関連事業体のM&Aを積極的に推進しております。しかしながら、当社が属するバイオ業界においては研究開発費の予算縮小傾向が継続する一方で、優位性の高いサービスを提供するための研究開発の実施、先端技術及び高額機器の導入や受注拡大に備えた設備投資といった先行投資が継続的に発生いたします。

このような事業環境の中で、当社グループが競合他社との競争優位性を確保するには、グループ収益の安定性

10年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

---

---

---

---



3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

--	--	--

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

--	--	--	--	--

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

--	--







(重要な後発事象)

資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分

当社は、2020年5月12日開催の取締役会において、2020年6月17日開催予定の第22期定時株主総会に、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について付議することを決議いたしました。

(1)資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

E05317)

【連結附属明細表】

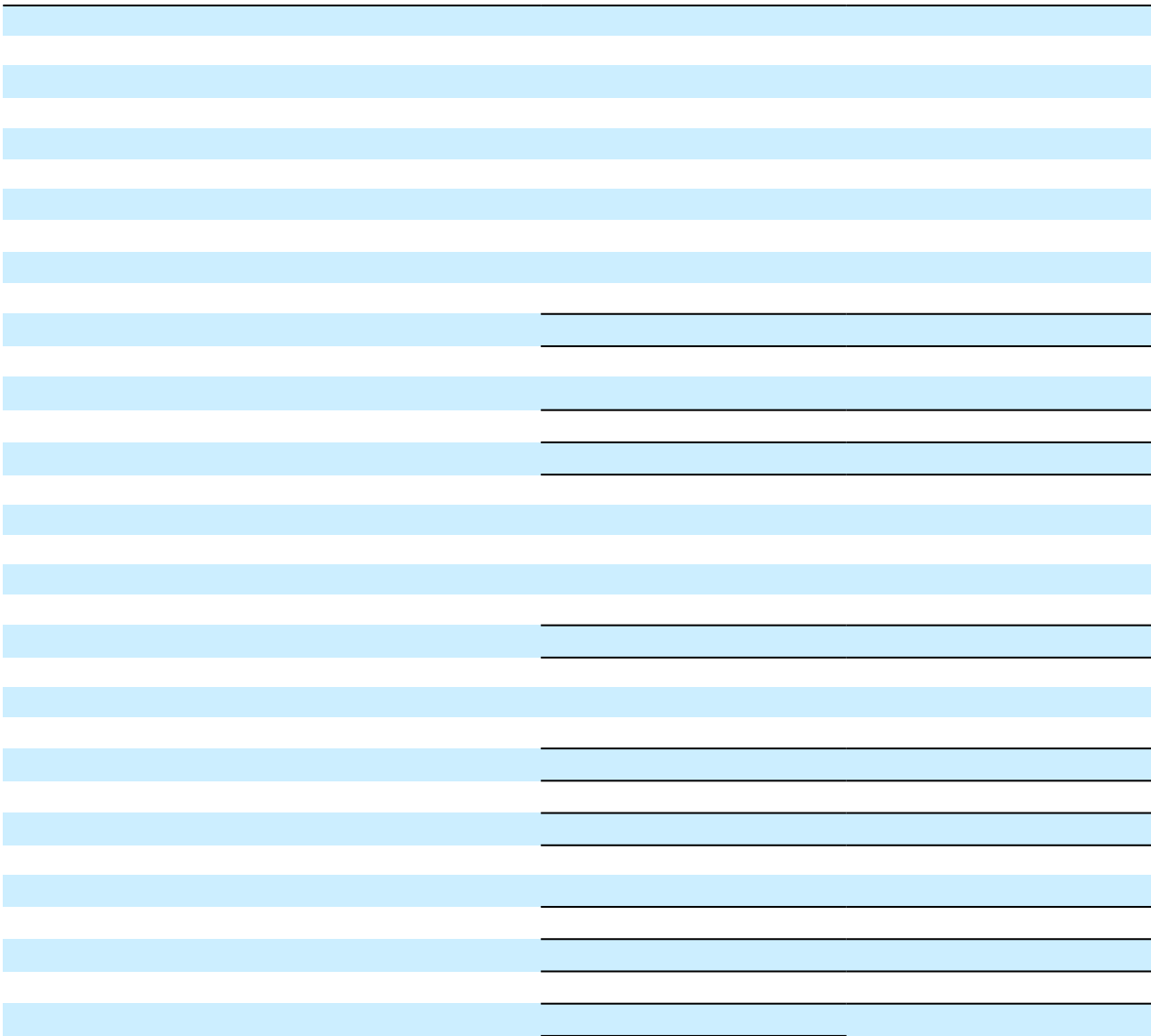
【社債明細表】

会社名	銘柄	発行年月日	当期首残高 (千円)	当期末残高 (千円)	利率(%)	担	

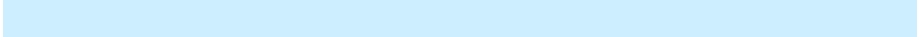


## 2 【財務諸表等】

### (1) 【財務諸表】



【損益計算書】







当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

【注記事項】



(損益計算書関係)

1 関係会社との取引高

---

前事業年度  
(自 2018年4月1日  
E05317)

---

2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
法定実効税率		



**第7【提出会社の参考情報】**  
**E05B提出会社の親会社等の情報】**





独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

2020年6月17日

株式会社トランスジェニック

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

- ・ 連結財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

E05317)



独立監査人の監査報告書

---

